

住民意見交換会（第 4 回）の報告

【開催日時等】

- 日 時：令和元年 5 月 10 日（金）午後 6：30～午後 7：45
場 所：福浦会館 大会議室
参加者数：10 名
- 日 時：令和元年 5 月 15 日（水）午後 6：30～午後 7：45
場 所：鍛冶屋会館 大会議室
参加者数：6 名
- 日 時：令和元年 5 月 17 日（金）午後 6：30～午後 7：15
場 所：観光会館 中会議室
参加者数：21 名

【会議次第】

- 1 開会
- 2 「ゆたぼん号」の運行形態について
- 3 意見交換会
- 4 その他

【主な質疑・意見・要望等】 ※「→」は事務局の回答

○福浦エリア

- ・実証運行を 1 年間実施するということだが、その後の予定は。
→本格運行を目指していくものですが、湯河原町地域公共交通会議にて協議してまいります。
- ・PR や周知が足りないかもしれない。今後、PR はどうしていくのか。区として協力できることはあるか。
→継続的に PR してまいります。また、個別で説明に伺いますので、お声かけください。
- ・乗降ポイントは福浦が 3 箇所という状況で利用が少ないが、例えば福浦会館をポイントに追加していただけないか。
→他のエリアと比較してもポイント数が少ない実情もあり、単純な考えかもしれませんが、ポイント数を増やせば利用者の増加も期待しております。ポイントについては、地域の方と相談し、ポイントを増やしていきたい。

・福浦は坂が多く、高齢者が歩く時間を少しでも短くした方が利用が多くなるだろう。福浦会館などは追加していただきたい。

→勾配があると、そのポイントまで移動するのが大変だという意見もいただいておりますので、検討してまいります。

・先ほど、この意見交換会に来る前に近くの高齢の方がいたので、「一緒に行こうと」誘ったのですが、夕方なので、断られてしまい、代わりに意見を聞いてきた。その方は1度、ゆたぼん号を利用したのだが、携帯電話を持っていないため、外出先で公衆電話を探すことが手間で、帰りの予約が不便だと話していた。最初の予約時に帰りの予約も出来るようだが、時間が読めない場合、外出先から予約する手段に課題があるようだ。また、携帯用のチラシも持っているのだが、帰りの時間が分からないと言っていた。目的地エリア発の時間がそうなのだと教えてやっと分かっていたのだが、高齢の方には分かりづらい部分もあるようだ。

・関連して、携帯電話を持っていない方の対応について、一定高齢の方々なので、かなり丁寧に説明していただかないと納得・理解がむずかしいと感じている。

→老人会さんや、何か集うことがあれば説明に参りますので、お気軽にお声かけください。

・オレンジラインの利用が多いが理由はなぜか。

→若草山や花咲などの自治会や孫込住宅などの利用が多い状況です。

・運転手に帰りの予約が出来ないとあるが、ここは調整できないか。

→運転手の対応ですと、手間が多く発生してしまい、また仮に同乗者が居る場合は予約の内容を聞き、予約センターに問い合わせ、結果を伝えるまで同乗者を待たせてしまうことになるため、帰りの予約を不可とした経過があります。

・他に、町などに来ている要望などはどのようなものか。

→例えば、予約の1時間前という予約期限について、短くならないかという要望がありました。

・運行時間について、最終が16:30だがここは調整できないのか。

→エリアを循環しているので、時間の対応が難しい点があります。

・福浦エリアの行きは利用者がいるが、帰りの利用がほとんどない。先ほどの方のように出先からの予約の手間があるのではないか。鍛冶屋などは大体同数であるが。現在利用している方の年齢層はどのあたりか。福浦の利用する世代は80代だと思われるが。

→概ねであります、80代より若い方の利用が多いようです。

・そういった方であれば、福浦では自家用車の移動が出来てしまう。帰りは予約しないで、タクシーやバス・徒歩になっているようだ。個人的な話になりますが、私もあと何年かしたらこの制度を利用したいと思っています。このエリアを見渡しても、そういった方は多いと思うので、長期的に見ていただきたい。

→交通会議には小田原警察署からも委員として参加していただいていて、免許返納については積極的に推進していきたいと話されています。現在、社会的にも免許返納は進んでいくものだと考えております。評価基準を設定し、数値の向上を目指しておりますが、地域の移動手段として定着してまいりたいと考えております。

・オレンジラインにはバスは走っているのか。

→走っておりません。

・それも利用が多い理由かもしれない。鍛冶屋はバスがあるから利用が低いかもしれない。

→路線バスのバス停まで一定距離を離れた箇所に乗降ポイントを設定していますが、それでもバスを利用される方が便利な方もいるかもしれません。移動手段の1つとして定着させていきたいと思います。

・他のエリアに比べて福浦の乗降ポイントが3個は少ないのではないか。

→福浦エリアについては、乗降ポイントを追加することによって改善が見込めるようであれば検討してまいりたいと思います。

・ポイントを追加しても、予約が無ければ運行しないので無駄にはならないのでは。

→ポイントによりますが、利便性と、他の公共交通との調整などの兼ね合いになります。

・ポイント追加は福浦会館とツクイ湯河原グループホーム、枇杷窪排水地あたりはどうか。

→現地を確認し、運行の安全面など考慮し、調整させていただきます。

- ・福浦は人口の絶対数が少ないから、他のエリアと比べて利用者も少ないのは考慮していただきたい。

→交通会議へ報告させていただきます。

- ・目的地エリア発の時間について、昼の時間帯が空いているので検討できないか。

→事業を実施する前に、町内の交通事業者にとったアンケートによると、人員も少ないため、朝や昼、夕方などはタクシー事業に人員が割かれてしまう。別途人を雇う費用は町として想定していないため、このような時間帯でしか運行が出来ないといった検討結果でありました。

- ・稼働率の目標が 30%とあるが、これが採算ラインなのか。

→採算といった視点ではなく、他の市町村などを参考に算出した利用についての目標値であります。

- ・事業者へ町から補助は出ているのか。

→運行経費から利用運賃を引いた額を助成しています。

- ・予約が無ければ経費が掛からないのは町側であって、タクシー事業者は人と車を抱えておかなければならないので、一定の負担はあるはずだ。便数を少なくして定期運行すると利用する人が増えるのではないか。

→本事業検討前に小型バスやワゴン型の定期運行と比較いたしましたが、今回の運行形態より経費が高額になる見込みであったため、現在の運行形態を実施しております。

- ・オレンジラインはこれだけ利用があればバスという選択肢もあるのか。

→乗降ポイントはセダン型車両を想定して配置しているので、バス型であれば、行くことが出来ない箇所もでてきてしまいます。

- ・コミュニティバスの稼働率はどうか。

→稼働率ではございませんが一日、11 往復 22 便しており、1 年間で 8 万人弱の利用です。多くの方に利用いただいておりますが、対経費では赤字となり、町から補填を行っております。コミュニティバスの稼働率も向上させて

いきたいと考えておりますし、既存の路線バスとの共存もございますので、ポイントの設定については、交通事業者との調整も必要であります。

- ・広報は大切なので、継続的に実施していただきたい。
→実施してまいります。

・小学校1年の娘が通学路を歩いているのですが、母としての意見ですが危険な運転をしている方もいらっしゃるので、免許返納については町としても進めていただきたい。また、予約型乗合い交通という名前で勝手に想像してしまったのだが、私自身が手伝えるのかなと思いました。例えば子供の習い事で駅に向かう時に、同じ時間に駅に向かいたい人を乗せて、ガソリン代くらいの少額をもらえたりする制度かと思いました。

→海外では一般的になってきた制度としてそういったものがございます（ウーバーなど）。関連では、自動運転など先の話になってしまいますが、そういった事も検討していく必要があると考えております。また、別の地域では、自治会などが車両を用意し、自家用車の有償運送を国に申請し、地域内限定で実施する事例などもございます。

・免許返納を進めるには町などももっと特典を付けたりしないと進まない。確かに昨今、色々と報道されているが、実際問題として返納した後の面倒さを考えると返納に躊躇してしまう。色々と研究していただきたい。

→一長一短にはいかないと思いますので研究してまいります。

・以前、千葉の方でその地域で取り組んでいる話があったが、それは車両の事故や保険など色々と課題があるようだ。この制度が定着すれば良いが、そうならなかった場合は、地域での検討も必要となる。

→事故の保険については、本制度のように事業者へ委託すれば、その業務内なので、事業者の保険が適用されるが、地域が主体となる事例では個人での加入となるようです。また、立ち上げ時は熱意がある方々がいますが、年月が経過すると、後継者が居なくなるという心配もあるようです。

- ・現在のドライバーはタクシー運転手のOBなどか。
→現職の方です。

・評価基準の乗車密度は1.3に対して超えていて、稼働率が30%に対して不足している。この状況に対してタクシー会社はどう考えているのか。全体的に悪くない数値にも見えるが。

→事業者には伺っていないが、交通会議として、設定した数値に対しての評価を今後行ってまいります。

・数値の向上には使い勝手の改善が必要ではないか。

→今回の意見交換会などを通じて、改善点を見出し、交通会議において協議してまいります。

・長期的な視点で考えてもらいたい。団塊の世代など、まだ車を運転している方々が近い将来に免許を返納することが想定される。現在の数値での判断も必要だと思うが、先を見ていただきたい。行政は一度無くなってしまうと、復活することが難しいから、長期的な目線で実施を継続していただきたい。

・先ほどの外出先で予約手段の無い方への対応をお願いしたい。スーパーの直通電話やポケベルのようなものを貸与するなど。色々と研究していただきたい。

・辞めるのは簡単だが、なんとか継続していただける方向で調整していただきたい。

→色々と研究させていただきます。

○鍛冶屋エリア

・オレンジラインエリアの利用が突出しているが、理由はどのようなものか。

→オレンジラインには団地や自治会、町営住宅などがあり、バスなどが通っていない、勾配差があるため、利用が多いものと考えております。

・利用者の頻度も影響すると思う。使い方に制約が多く、使い勝手が悪い、利用が面倒だと、特に高齢者は考えるのではないか。

→様々なご意見をいただいておりますが、事前登録を不要にするなど、手間の無いように調整しております。

・バスなど、利用者が減ると便数が減って、使い勝手が悪くなり、乗車率が悪くなるという悪循環になる。広報の仕方や具体的な使い方をアドバイスするような方法、例えば地域毎に詳しい方がいれば、その人に聞いたりできる。一人暮らしの高齢者も多いので、この制度を知らない方や知っていても、使い方が分からない人は多いのではないか。

→4月に鍛冶屋の長寿会さんからお声掛けいただき、説明をさせていただきました。それ以外にも、足を運ばせていただき、説明させていただきたいと考えておりますので、お気軽にお声かけください。

- ・利用者からアンケートをとったりしたのか。

→平成30年10月から実証運行を開始しましたが、最初の2か月間に利用者にアンケートはがきを配布し、ご意見をいただきました。56件の回答がありました。利用用途で多かったものが買い物で、50%以上でした。通院が約20%、習い事・趣味が約10%、役場などの公共施設という回答もありました。また、ゆたぼん号が運行する前の交通手段については、タクシーの利用が約45%、バス停まで移動してのバス利用が約30%、徒歩が約10%でありました。自由記述欄も設けましたので、様々なご意見をいただきました。

- ・乗降ポイントに表示があるのか。

→ゴミステーションに表示をしております。鍛冶屋エリアは青色の看板で大きさはA3サイズです。

- ・のぼりなどは立てないのか。

→風などの影響で危険となる可能性があります。不便エリアの表示が分かりづらいというご意見はいただいておりますが、不便エリアのポイントはご自宅の近くでございますので、場所については覚えていただきたいと思います。逆に目的地エリアのポイントは用事によって利用先が変わるものです。目的地エリアのポイントを記載した蛇腹折りでカードサイズのチラシをご用意しております。

- ・利用しているのは、バスなどの無いところだろう。鍛冶屋も無いが、下っていけば五郎神社があつて、利用が少ないかもしれない。費用対効果はどうか。

→事業者が設定している経費については、実際のタクシー料金より安価な設定をしていただいております。その経費から利用者の運賃を差し引いた分を町が補填しています。持続可能な制度となるように、乗合いをしていただくと、町の補填が減ります。また、乗合うことにより、地域の方とお会いする機会がありますので、久しく会う方とお話しする機会ができるなど、地域でのつながりなど、コミュニケーションをとれる場の1つとなることも期待しています。

・コミュニケーションの場であるという点は良い。近所で示し合わせて利用するなど、大切だと思う。災害の際など、地域に知っている方が居ると居ないでは大きな差がある。

→周知の方法含め検討してまいります。

・他エリアに比べれば、鍛冶屋は多少、平らかもしれない。他のエリアの方が、五所神社でバスを降りて、坂道をずっと上っているので、大変だと思う。

→周知を行ってまいります。

・日本の法律にも関係してくるが、一般の人が乗合い運行をして町から補助するなどが出来ればいい。今運転手が不足していると聞いている。

→法的な問題があると思いますが、運転手不足は各事業者で深刻化していると聞いております。

・実証運行を行って、利用者が少なかった場合はどうなるか。

→運行継続条件はお示ししていますが、交通会議で協議し、こういった形が良いのか、など検討をしてまいります。

・鍛冶屋では、知った顔が多いので、運転していて見かけたら、「乗ってきなよ」という感じで助け合っている。そういった事もあり、利用が少ないかもしれない。

→鍛冶屋エリアでは、一定、地域の助け合いがあるという話は伺っています。

・高齢者が利用するのに検討してもらいたいのが、朝9時の便を予約するのに期限が8時だと2時間しかないので、家事などをしているとあっという間なので、前日に出来るようになど、検討してもらいたい。

→検討いたします。

・朝の時間が9時より早ければもっと利用が増えるのではないかな。今は家族で住んでいたりして利用の必要性が無い方も多いのではないかな。しかし、自分もあと何年運転出来るか分からないので、こういった制度を知っておきたい。

→引き続き周知を行ってまいります。

・区会としても、周知をしていきたいが、鍛冶屋は広く、該当エリアが限られているので、周知の方法を一緒に考えていきたい。一度使ってもらえば、あとは本人の都合で利用すれば良い。

→移動手段の1つとして利用していただければ幸いです。

○温泉場・オレンジラインエリア

・利用した感想として便利であるので、感謝している。オレンジラインエリアの7つの自治会で本制度について打合せなどしているので代表して3点お話しさせていただきます。

1点目として、交通不便地域の解消に非常に有効なので、是非、本格運行をしていただきたい。その際、評価基準の目標値が設定されているが、合計では片方しかクリアしていないが、エリアによっては両方達成しているので、少なくともそのエリア、オレンジラインエリアですが本格運行していただきたい。

→湯河原町地域公共交通会議において、実績などを報告し検討してまいります。

・2点目、この半年の実績はこの資料の通りだと思いますが、本当のニーズは恐らく2倍以上あると思う。地域の方にヒアリングを行ったが、現在は車を持っていて高齢である方が非常に多く、そういった方はまだ利用していない。どうしてかと聞くと、数年して、免許を返すことになったら利用するというので、現在の実績に表れないニーズが相当数ある。

→他エリアでも同様に、今後、免許返納をした際には利用したいという声が多く、参考とさせていただきます。

・オレンジラインエリアは広い範囲で、ポイントも多く、実際の利用や乗合いが多い。走行距離が長くなってしまい、道路事情も悪いため、エリアを分割していただきたい。

→エリアを分割するメリットデメリットを確認し、検討してまいります。

・3便と4便の時間が不便エリアと目的地エリア発の時間間隔が短い。

→運行事業者の対応可能な時間帯になるべく多くの便を運行出来るように時間配分をした結果であります。

・目的地エリアにJCHOが無い。追加できないか。

→目的地エリアについては、駅周辺の病院やスーパー、公共施設にポイントに設置しています。様々ご意見はいただいておりますが、際限が無くなってしまふ事を懸念し、駅周辺と設定しております。

・予約期限が1時間前だが、もっと短くならないか。

→予約が複数ある場合は運行ルートの検討に時間が必要であったり、運行する車両についても、事業所で待機しているものではありませんので、移動時間についても考慮する必要があるがございますので、事業所と調整が必要でございます。

- ・利用させていただいている。感謝している。同じ意見になりますが、予約の期限が 30 分前になるとよりありがたい。

- ・ 2 便と 3 便の間が空いているので、つめてもらいたい。

- ・ 土日に少ない便数でも構わないので、導入していただきたい。

→ドライバーの労務にも関係してまいりますので、事業所と調整が必要でございます。

- ・評価基準について、合計とエリア別の考え方であるが、未達成であっても、利用が無ければ運行が無く、お金も掛からないので、辞める必要はないのではないか。全体の数字を見ると、良い数字ではないか。利用している方は生活の一部であるので、取り上げるのではなく、内容を煮詰めて、乗る方も協力する必要がある。

→評価基準については、未達成の対応や本格運行への移行など含め交通会議において検討してまいります。

- ・前回の会議でUDタクシー車両への助成などがあったが、そういった事業者にも協力をしてもらえないか。

→検討してまいります。

- ・乗合いで和気あいあいと走っていますし、良いことだと思う。高齢化し、車を手放すこともあると思うので、この制度が受け皿としてなるようお願いしたい。

→潜在的なニーズは多くあると認識しております。公共交通不便エリアの 1 つの選択肢となるように定着させたいと考えております。

- ・ 2 台目運行について、本格運行でも実施していただきたい。オレンジラインが多いが全体バランスとして良いものだと感じる。

→交通会議に報告し、検討してまいります。

【事務局】

○交通会議やこれまでいただいたご意見の中で、乗降ポイントについての提案がありました。事務局で整理し、現地を確認しまして2つのポイント案を検討しておりますので、ご意見いただけますでしょうか。1点目はオレンジラインエリアのアーバンヴィラの下、2点目は旧湯河原幼稚園の入口のゴミステーションです。この2か所については現在利用の無い、⑥または⑦のどちらか1か所と、⑫の2つのポイントを移設するという案でございます。

・その2か所については反対ではないのですが、より範囲が広がり、利用が増えるのであれば、オレンジラインエリアの分割を平行して検討いただきたい。
→検討してまいります。

・アーバンヴィラの方で、ポイントから外れていると声があった。是非検討していただきたい。
→検討してまいります。

以上。